

資料 2

新たな全国版図柄入りナンバーの寄付金 使途

1. 第5回検討会におけるご意見

前回の第5回検討会において、自動車ユーザーから任意の寄付金であること、「日本を元気に!」「立ち上がれ!美しい日本」をテーマとしていることを踏まえ、「道路交通におけるSDGs」の達成を掲げることを事務局案として提示したところ、自動車ユーザーへの訴求方法について以下のようなご意見をいただいた。

- 「日本を元気に!」「立ち上がれ!美しい日本」というテーマを掲げているので、テーマに沿って寄付金を使用することをわかりやすく表現すべきでは。SDGsに寄付金を使用するというと、テーマがわかりにくくなる。
- 新たな全国版図柄入りナンバープレートを多くの方に付けていただけるようなコンセプト、ストーリーを検討してほしい。
- 寄付金使途と自動車ユーザーの接点がどこにあるのかを言葉に落とせると良い。テーマに共感する方々が、そういう形で寄付金が使われたらうれしいと思えるようなストーリーが大事と考える。

2. 寄付金使途の基本的な考え方と取組例

前回の第5回検討会において提示した、寄付金使途の基本的な考え方と、その考え方を踏まえた寄付金を使用できる取組例は次のとおり。

○寄付金使途の基本的な考え方

- ・全国版の図柄入りナンバーであることから、寄付金の使途となる施策の範囲を全国とする。
- ・オリパラナンバーの後継であることから、バリアフリーの推進を取組の一つとして継承する。
- ・自動車ユーザーからの任意の寄付金であることから、自動車ユーザーに関連する道路交通に関する事業を対象とする。

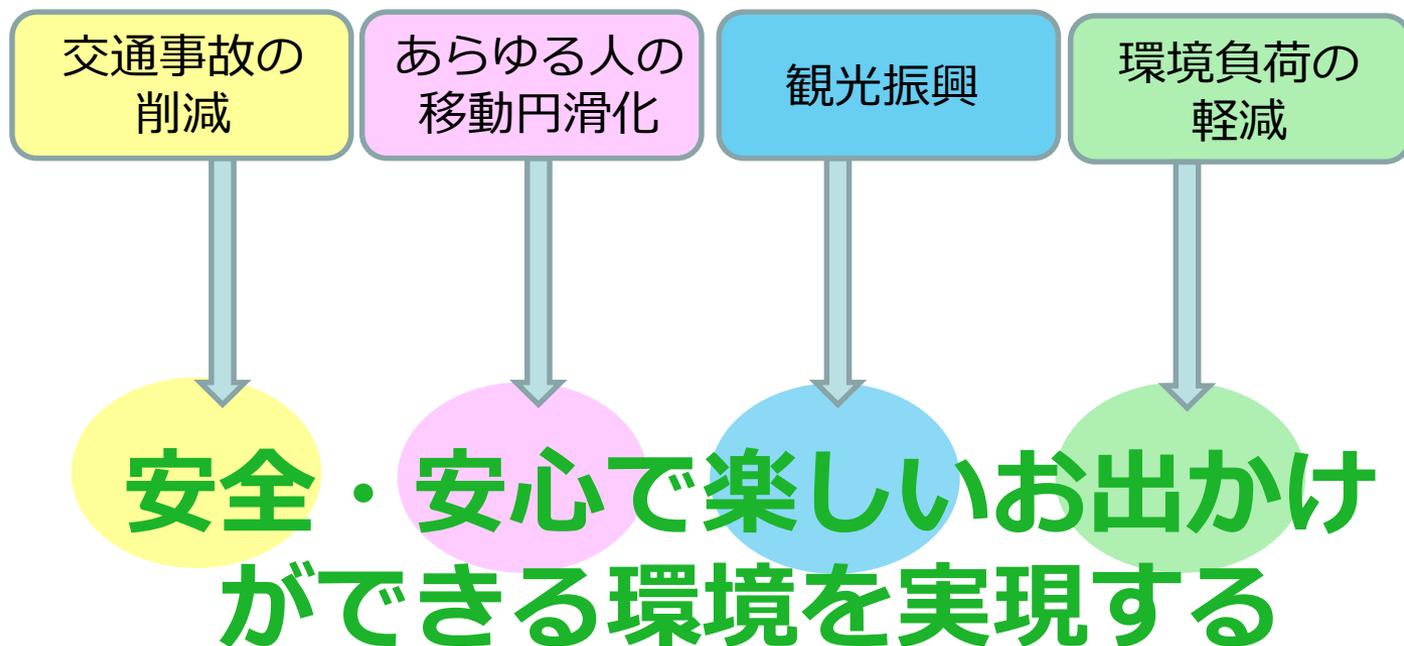
○寄付金使途の基本的な考え方を踏まえた、寄付金使途の取組例

- ・交通事故の削減（道路交通における先進技術の推進）
- ・観光振興（観光地の環境整備）
- ・あらゆる人の移動円滑化（道路交通のバリアフリー化、地域交通の確保）
- ・環境負荷の軽減（道路交通のカーボンニュートラルの推進）

3. 寄付金使途を連想させるコンセプトの設定

「日本を元気に!」、「立ち上がれ!美しい日本」というデザイン案のテーマは、自動車ユーザーに寄付金使途を連想させて共感を得るものとしては包括する範囲が広い。ため、寄付金使途をある程度イメージできるコンセプトを用いて、共感を得るストーリーを構築してはどうか。

上記テーマは「安心して自動車で楽しいお出かけをすることで、日本の元気を取り戻していこう」という思いを込めて設定していること及び第5回検討会で提示した寄付金使途の取組例を踏まえると、「安全・安心で楽しいお出かけができる環境を実現する」が、コンセプトとして考えられる。



4. 目指すビジョンとストーリー

コンセプトを踏まえた上で、自動車ユーザーの寄付が、自動車が社会に与える好影響を増大させる又は社会に与える悪影響を軽減する公共性の高い取組を実現するものであることを、自動車ユーザーに共感してもらうために、目指すビジョンを設定してはどうか。

目指すビジョンは「日本中の誰もが、安全・安心で楽しいお出かけができる新しいクルマ社会へ」とし、自動車ユーザーの寄付が「安全・安心で楽しいお出かけができる環境を実現する」ことへの課題を解決できるというストーリーで訴求してはどうか。

